

# 令和2(2020)年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福岡

## 1 事業の成果

平成28年4月から指定管理者として事業受託した福岡市立ひとり親家庭支援センター(以下、センターという)の管理・運営の第3期最終年である。指定期間は平成28年度～令和2年度の5年間である。

令和2年2月に新型コロナウイルス感染症が拡大し、2月末から始まった全国一斉休校は5月まで続いた。かつてない異例の新年度スタートとなった。4月の「子育てひろば」や「母子家庭おしゃべり会」、5月開始の就業支援講習会もすべて6月開始にせざるを得なかった。新型コロナの影響で年間を通して中止としたのは、「夏休み学習教室」と「親子クッキング」だけだったのは、この状況下で幸運だったと言える。

福岡市ひとり親家庭自立支援プログラム策定事業も、自粛期間中はマザーズハローワークの閉鎖など公的機関に影響があり、面談件数が減った。しかし緊急事態解除後は、職場の自宅待機や、事業所閉鎖に伴う失業などの相談にも対処できた。伴走型の就業支援なので、生活保護受給者等就労自立支援事業を使い、マザーズハローワークやハローワークと連携して就職につながった。

子育て支援事業のメインイベントである夏休み親子リフレッシュ事業は、バスなどの密閉空間は感染が懸念されるため、現地集合、現地解散とした。だざいふ遊園地(太宰府市)に行き、久々の遊園地を楽しんだ。帰りには梅が枝餅引換券を渡し、お土産として喜ばれた。手渡しのお弁当を広げ、屋内や遊具で子どもを遊ばせながら参加者どうしの交流が図られた。「福岡市母子福祉会芙蓉基金」の助成金を費用に充てた。

センターで実施して9年目となる「夏休み学習教室」は休校が長引き、夏休みが短縮されたため実施できなかった。運営委員会では、子育て中のシングルマザー3名からの子育て支援事業への要望や提案を聞いたが、コロナ禍の制限で、希望に沿う企画はできなかった。大手門保育園のホールを借りて実施していたクリスマス会も、ホール内でのマジックや飲食は感染拡大が懸念されるため、チャリティーサンタからの絵本プレゼントと焼き菓子詰め合わせのプレゼントとした。国際ソロプチミスト福岡中央より寄付金をいただいているので、費用の一部にあてた。サンタから一人ずつに絵本がプレゼントされ、子どもたちの嬉しそうな顔が印象的だった。恒例の花見は、コロナ感染拡大防止のため、今年も中止とした。

福岡市男女共同参画推進センター・アミカスの市民グループ活動支援事業は、今年度実施しなかった。

次の指定管理の公募が7月に発表され、8月28日が応募書類を提出する期限だった。平成18年の指定開始から15年経過しており、特に人事面で大幅な世代交代を図ることとした。検討委員会を2回開催し、次の提案に盛り込む内容や、職員体制について協議を重ね、応募した。10月6日に指定管理者として適格との選定結果を受け取った。次期センター長と、勤務1年以内の相談員を除いて、公募することにしていたので、面接の結果、2月末に新しい職員体制が確定した。経験値は少ないが、シングルマザー当事者を3名採用し、50代中心の職員体制となった。

ゆるやかなネットワークであるシングルマザーサポート団体全国協議会は、コロナ感染症の拡大に伴う一斉休校に素早く対応した。まず認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむから、お米の提供があり、希望者に手渡した。その後緊急事態宣言が出され、自宅待機を与儀なくされた人が多かった。手渡しが難しくなったため、ゆうパックで、自宅宛て送ることにした。「ひとり親家庭の困窮」がマスコミで取り上げられたり、しんぐるまざあず・ふぉーらむが実施した緊急アンケートで、現状が報告された。国民一人あたり10万円の定額給付金が支給されると、その一部を寄付として振り込んでくれる方が増えた。また「長友基金」や、カプコン(株)など企業からの寄付金を東京が集約し、参加団体は申請することで活動資金を得られた。12月には「年末ハッピープロジェクト」と銘打ち、食料品詰め合わせを送って喜ばれた。6月にリモートで全国連絡会、1周年記念集会を開催し、11月には院内集会を開催するなどして、ひとり親臨時特別給付金の支給につながった。毎月1回、Zoomで定例会議を行い、情報交換や行動に向けた打合せを行った。令和3年3月に始まった家族法に関する法制審議会の委員に、東京の赤石さんが選ばれたので、養育費や面会交流、共同親権の議論に当事者の声を反映させるべく、全国協議会でも議論を深めていくことにしている。

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
就労支援事業	福岡市立ひとり親家庭支援センターの無料職業紹介事業を受託	令和2年4月～ 令和3年3月	福岡市立ひとり親家庭支援センター	2人	福岡市内のひとり親、寡婦	0
相談事業	当事者による離婚、生活相談	令和2年4月～ 令和3年3月	当会事務所	1人	主としてひとり親	0

事業名	事業内容	実施時期	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び参加人数	支出額 (千円)
セミナー事業	ひとり親家庭のつどい ワークショップスタッフ	令和2年11月15日	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	1人	福岡市内ひとり親と子ども 35人	3
出版事業	母子家庭に関する 会報の発行	年4回(6月、9月、 12月、3月)	当会 事務所	4人	購読者 120人	71
子育て 支援事業	リフレッシュ事業 親子レクリエーション	令和2年11月1日	太宰府市 だざいふ園	2人	ひとり親と子ども 38人	113
	夏休み学習教室	新型コロナ感染防 止のため中止		0人	ひとり親家庭の子ども 0人	0
	親子で楽しむクリスマス	令和2年12月20日	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	2人	ひとり親と子ども 74人	98
	春休み学習教室 (プログラミング学習1日含む)	令和3年3月25日～ 3月30日	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	2人	ひとり親家庭の子ども 3人	5
	花見	新型コロナ感染防 止のため中止		0人	ひとり親と子ども 0人	0
調査・研究 事業	実施せず					
福祉事業	食糧支援 (認定NPO法人しんぐるまぎあ ず・ふおーらむ、カプコン助成 金含む)	令和2年4月～ 令和3年3月	当会事務所	2人	九州内内のひとり親家庭 1000人	4091
他団体の 事業受託	福岡市立ひとり親家庭支援セン ターの管理・運営	令和2年4月～ 令和3年3月	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 9269人	47,758
	福岡市ひとり親家庭等日常生活 支援事業	令和2年4月～ 令和3年3月	福岡市立ひとり親 家庭支援センター	5人	福岡市内のひとり親、寡婦 136人	1,924
その他法人 の目的達 成の為の事 業	シングルマザーサポート団体 全国協議会活動	令和2年4月～ 令和3年3月	各団体 事務所にてZoom会議	1人	参加団体 20団体	24
		6月24日、25日 11月24日	1周年記念集会(東京) 院内集会(東京)	1人	参加者 84人	9